

2014.9.28

Mahara Open Forum 2014

# 学部教育におけるeポートフォリオ Mahara活 用の継続的取組み

---

法政大学国際文化学部

大嶋良明 田中勇太

# 概要

---

法政大学国際文化学部は学習成果の可視化を目指した活動を行ってきたが、2012年度にはMaharaを導入し、運用3年目を迎えた。

2014年度の春学期に「入門科目」「チュートリアル」の二つの初年次科目についてMaharaを活用した結果を報告する。

# 背景： 学部の特徴と現状

- 1学年約250名, リベラルアーツ型
  - 国際, 言語, 表象, 情報の4コース → 積み上げ型モデルなじまない
- スタディ・アブロード(SA)
  - 学部2年生全員が海外研修
  - 長期(秋セメスタ)あるいは短期(夏休み)
- 「**情報リテラシ**」を必修化(1年次春セメスタ)
- 他に初年次科目として: 「**国際文化情報学入門**」(必修、大教室)  
「**チュートリアル**」(選択必修、少人数)

特にSAについては:

- SAの前後で学びの意識の連続性が分断
- SA期間中の総合的な学習成果が見えにくい

ePortfolio

# 背景： Mahara取組みの現状

---

- 全学ドメインで運用3年目、年次進行で1～3年生全員にアカウント配付、自習用ビデオ教材の整備
- SA、ゼミ、情報科目などの単位で利用が伸びて、グローバル人材育成のなかでのSAでの学習成果の「見える化」は何とか進んできた
- ePortfolioとしての活用には、学生も教職員も発展途上

•カリキュラム早期の利用開始、スキル向上を目指したいが、現行カリキュラムの枠組みでの十全な実践は困難、いまできることに取組んでいる。

•まずは初年次科目での利用を根付かせたい。

---

# 入門科目でのグループワーク

# 入門科目（情報分野）

---

- 1年次春学期
- 必修、大教室（学生：160名 × 2クラス）
- 学部コースの分野に関連、情報はそのひとつ
- Clickerの活用や携帯電話での資料提示などでFD的な取組み

昨年よりMahara上のページ作成のグループワークを導入、継続的に改良している



# グループワーク

iPad 7:23 74%

epf.hosei.ac.jp

【2014年度後半クラス】グループ3：ビクトグラム・ベスト10 - HOPS

【2014年度後半クラス】グループ5：ビクトグラム・ベスト10

国際文化情報学入門 (授業)

### ビクトグラム#1



#1の分析

ビクトグラムの...

採集者氏名： ユンヒョギョン

採集場所： 新宿の金券ショップ

何を伝えているか： ギフト券、金券を購入できる。

分析内容： 商品券や株主優待券、その他チケットの販売していることを示すために金券の絵とプレゼントの絵が描かれている。シンプルであるがこの単純さが私たちに情報をより分かりやすく伝えている。

### ビクトグラム#2



#2の分析

ビクトグラムの...

採集者氏名： 小形 拓也

採集場所： 小田急線町田駅西口

何を伝えているか： ビラ配りによる勧誘活動を禁止。

分析内容： 人の右手には長方形のビラを表しているものが握られておりその手は前に差し出され配るような体勢になっている。左手には何枚かのビラが抱えられているのが分かる。その...

### ビクトグラム#3



#3の分析

ビクトグラムの...

採集者氏名： 沼田 祐也

採集場所： 高尾山中腹

何を伝えているか： 伝説の天狗が出てくるため気を付けるよう注意を呼び掛けている。

分析内容： 天狗は高尾山にて招福万来、除災開運や衆生救済のご利益をもたらす存在として昔から伝えられており、実際に遭遇するかは不明だが観光客や登山客に高尾山の歴史を知って...

### ビクトグラム#4



#4の分析

ビクトグラムの...

採集者氏名： 山崎 優

採集場所： 京王線北野駅の公衆電話

何を伝えているか： 緊急時に無料で繋がる機関とその電話番号を示している。

分析内容： 緊急時にかげられるのは警察署と消防署である。それを示すためにパトカーと消防車、救急車の絵がありその下に電話番号が書かれている。緊急時に...

### ビクトグラム#5



#5の分析

ビクトグラムの...

採集者氏名： 宇佐見夏帆

採集場所： 秋葉原駅構内の自動販売機の裏。

何を伝えているか： 自動販売機が利用できることを示している。

分析内容： 絵自体は人が自動販売機に手を伸ばして買おうとしているシンプルなものだがこのビクトグラムのポイントはそこではなく描かれている位置である。人目に付きやすい場所だけに配置せずどこから見てもそれ...



---

# チュートリアル科目でのルーブリック

# チュートリアル科目

---

- 1年次春学期
- 登録必修制少人数クラス(学生:15~16名)
- アカデミック・トレーニング(ノート、要約、レポート、図書館、プレゼン)
  
- 自己評価を提出させFD的に利用

自己評価にルーブリック機能を使わせてみた

# テキスト:学習支援ハンドブック

## 図書館を使いこなそう!

インターネットを使って収集した情報が有用な場合もありますが、自分の欲しい情報を効率的に集めるのは結構難しいものです。そのため、図書館を上手に使うには注意が必要とされています。幸甚と、大学で卒業した学生生活、母体生活を送る方からは、「知る事柄」である図書館と上手につきあえるかどうかがかかっているといっても過言ではありません。図書館を使いこなすには、その役割別に慣れていくことが一番の近道です。とくに＜市立図書館＞＜小倉井図書館＞と各キャンパスにあります。



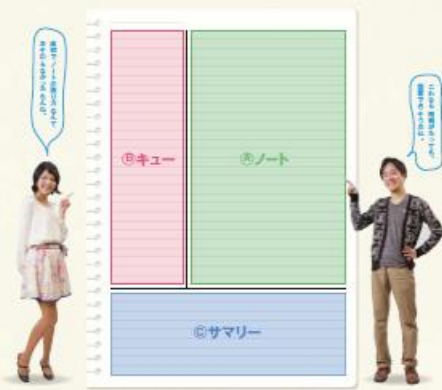
- 市立図書館 〓 〓〓年館
- 多摩図書館 〓 〓〓年館
- 小倉井図書館 〓 〓〓年館

図書館は閲覧、閲覧に付かず貸出を持つ資料が置かれています。蔵の資料や貴重書を利用する既

### 法政大学図書館公式

### 1 図書館利用のチェックポイント

- あなたの欲しい情報は、図書館にあれば、インターネットを使って貸出からい
- 貸出期間の過ぎた本は返却せよ
- 貸出期間の過ぎた本は返却せよ
- 貸出期間の過ぎた本は返却せよ
- 貸出期間の過ぎた本は返却せよ



- まず論文の構成に慣れる。ノートの左側と右側からそれぞれ100ワードのノートを1週間分ずつ書く。読者のために論文を短く書いてみる。
- ▼
- 授業中にノートを取る際には、自分の理解に書き込めるようにする。また確認するために、講師は自分の理解が正しいか確認する。
- ▼
- 授業が終わったあとの2週間分、自分の理解を深める。ワーキングメモリーを使って自分の理解に書き込める。授業中に疑問点や分からない点をメモしておく。授業が終わったあとの2週間分、自分の理解を深める。
- ▼
- 最終課題のノートを一冊作る。1週間分ずつ書いてみる。1週間分ずつ書いてみる。1週間分ずつ書いてみる。

紙書を丸写しするスタイルを卒業して、要点をまとめ疑問点を洗い出すノートの取り方を、皆さんも工夫してみましょう。

## INDEX

### 法政大学へようこそ

法政大学の歴史	02
法政大学の理念	06
法政大学の歴史	06
法政大学の理念	06
法政大学の歴史	06
法政大学の理念	06
法政大学の歴史	06
法政大学の理念	06
法政大学の歴史	06
法政大学の理念	06

### 大学での学びとは

基礎を固める	15
基礎を固める	15
基礎を固める	15
基礎を固める	15
基礎を固める	15
基礎を固める	15
基礎を固める	15
基礎を固める	15
基礎を固める	15
基礎を固める	15

### レポートの書き方

レポートを書く	22
レポートを書く	22
レポートを書く	22
レポートを書く	22
レポートを書く	22
レポートを書く	22
レポートを書く	22
レポートを書く	22
レポートを書く	22
レポートを書く	22

### 情報収集から卒業へ

情報収集から卒業へ	42
情報収集から卒業へ	42
情報収集から卒業へ	42
情報収集から卒業へ	42
情報収集から卒業へ	42
情報収集から卒業へ	42
情報収集から卒業へ	42
情報収集から卒業へ	42
情報収集から卒業へ	42
情報収集から卒業へ	42

### その他の学習支援

その他の学習支援	90
その他の学習支援	90
その他の学習支援	90
その他の学習支援	90
その他の学習支援	90
その他の学習支援	90
その他の学習支援	90
その他の学習支援	90
その他の学習支援	90
その他の学習支援	90

## パラグラフとは?—アカデミックライティングの基礎—

大学における学術的な書き方をアカデミックライティングといいますが、アカデミックライティングはレポートの書き方の基本であり、作文、エッセイあるいは新聞記事の書き方とは異なっています。パラグラフは2つの構成要素から成り立ちます。次の例を考えてみましょう。

**例文**

夏休みに下の学術誌上巻一巻は、法政大学上二つの点で重要である。第一巻は法政大学の上巻一巻の中心となる。第二巻は法政大学の上巻二巻の中心となる。第三巻は法政大学の上巻三巻の中心となる。第四巻は法政大学の上巻四巻の中心となる。第五巻は法政大学の上巻五巻の中心となる。第六巻は法政大学の上巻六巻の中心となる。第七巻は法政大学の上巻七巻の中心となる。第八巻は法政大学の上巻八巻の中心となる。第九巻は法政大学の上巻九巻の中心となる。第十巻は法政大学の上巻十巻の中心となる。

### 上の例のパラグラフにおけるTS, SS, (SD) およびCSの関係

(TS) 夏休みに下の学術誌上巻一巻は、法政大学上二つの点で重要である。第二巻は法政大学の上巻二巻の中心となる。第三巻は法政大学の上巻三巻の中心となる。第四巻は法政大学の上巻四巻の中心となる。第五巻は法政大学の上巻五巻の中心となる。第六巻は法政大学の上巻六巻の中心となる。第七巻は法政大学の上巻七巻の中心となる。第八巻は法政大学の上巻八巻の中心となる。第九巻は法政大学の上巻九巻の中心となる。第十巻は法政大学の上巻十巻の中心となる。	<b>TS</b>	トピックセンテンス パラグラフの中心となるトピックを述べ、そのトピックの重要性を説明する。
(SS1) 第一巻は、法政大学の上巻一巻の中心となる。第二巻は法政大学の上巻二巻の中心となる。第三巻は法政大学の上巻三巻の中心となる。第四巻は法政大学の上巻四巻の中心となる。第五巻は法政大学の上巻五巻の中心となる。第六巻は法政大学の上巻六巻の中心となる。第七巻は法政大学の上巻七巻の中心となる。第八巻は法政大学の上巻八巻の中心となる。第九巻は法政大学の上巻九巻の中心となる。第十巻は法政大学の上巻十巻の中心となる。	<b>SS</b>	サブトピックセンテンス トピックをさらに詳しく説明する。
(CS) 第一巻は、法政大学の上巻一巻の中心となる。第二巻は法政大学の上巻二巻の中心となる。第三巻は法政大学の上巻三巻の中心となる。第四巻は法政大学の上巻四巻の中心となる。第五巻は法政大学の上巻五巻の中心となる。第六巻は法政大学の上巻六巻の中心となる。第七巻は法政大学の上巻七巻の中心となる。第八巻は法政大学の上巻八巻の中心となる。第九巻は法政大学の上巻九巻の中心となる。第十巻は法政大学の上巻十巻の中心となる。	<b>CS</b>	コンタクトセンテンス トピックをさらに詳しく説明する。

TS例—夏休みに下の学術誌上巻一巻は、法政大学上二つの点で重要である。

### トピックセンテンスの重要性

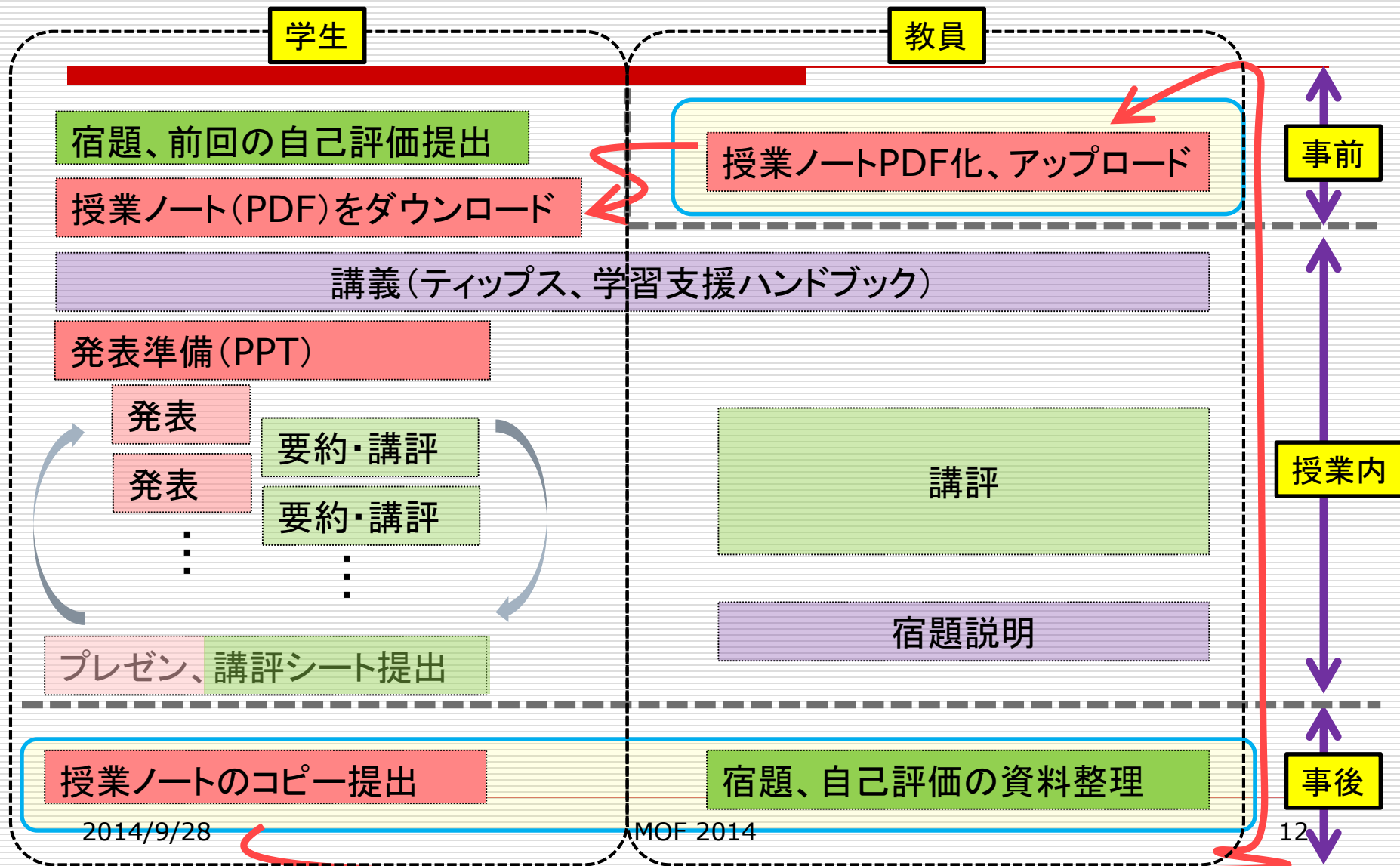
トピックセンテンスは、パラグラフの中心となるトピックを述べ、そのトピックの重要性を説明する。トピックセンテンスは、パラグラフの中心となるトピックを述べ、そのトピックの重要性を説明する。トピックセンテンスは、パラグラフの中心となるトピックを述べ、そのトピックの重要性を説明する。

### 別窓—ひょうせつ

提出されるレポートの中には、残念ながら、参考資料をただ丸写ししたものやインターネットで見つけたサイトをコピー＆ペーストしたものもよく見られます。こうした行為は「盗用行為」(plagiarism)といわれ、厳禁されています。他人の論文を自分の論文として提出することは、学問の世界では許されず、著作権法上の問題も生じます。自分の主張と参考にした文献からの引用は明確に分けて表記し、引用部分については何から引用したのかを明示しなければなりません。その際、学術分野や書式(縦書きや横書き)、また和文か英文か等によって異なります。自分のレポートにあった部分に際しては、必要に応じて、レポート執筆の際、参考にした論文等でどのように文献の引用をしているのか、またどのようにその内容を明示しているのかを確認し、内容だけでなく、その書式も学び、自分のレポートに活かしましょう。

盗用・カンニングの不正行為を行った学生に対し、大学は厳正に対処しています。

# チュートリアル授業(ほぼ毎週)



# 「チュートリアル」科目のルーブリック(教員による記入例の例示)

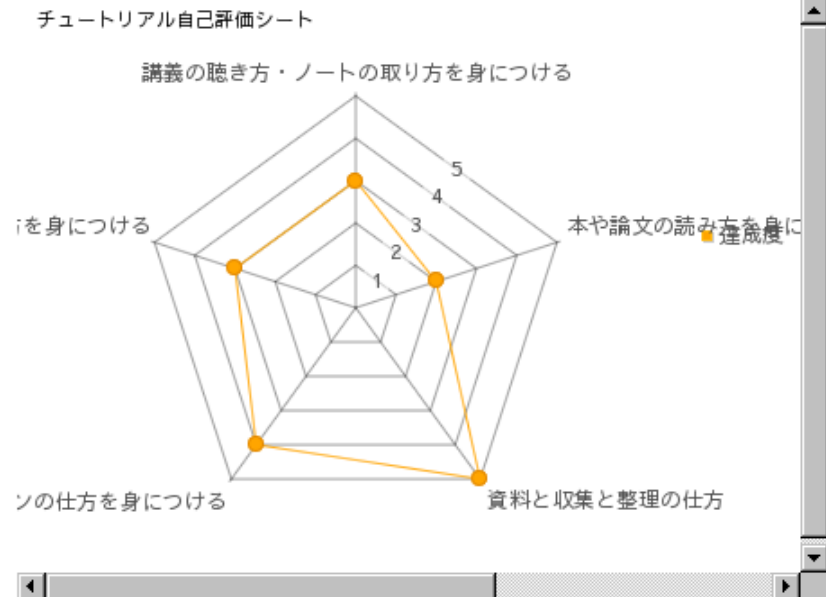
## 自己評価とコメント

	達成度	次のステップ
講義の聴き方・ノートの取り方を身につける	3 大学の講義はいろいろなスタイルがあって、先生が板書してくれない科目やプリントを配ってもらえない科目では困りました。	4
本や論文の読み方を身につける	2 チュートリアルの課題として一度だけ練習しましたが、春ゼミ科目の実際の論文課題には役に立ちませんでした。たくさん練習するなかで身に着いてくるものだと痛感しています。	3
資料と収集と整理の仕方	5 図書館の使い方やインターネットを活用した調べ学習をたくさん練習しました。	-
プレゼンテーションやディスカッションの仕方を身につける	4 パワーポイントで毎回短い発表練習をしたので、プロジェクト機材の使い方やノートPCの使い方やプレゼンの時間配分など習得しました。	5
レポートや論文の書き方を身につける	3 むずかしいと感じました。	4

### 凡例

- 十分に習得・認識することができた
- ある程度習得・認識することができた
- どちらともいえない
- あまり習得・認識できなかった
- まったく習得・認識できなかった

## レーダーチャート



# 自己評価：ノートを取り方

---

- 毎週2科目分の授業ノートのコピーをとり授業内での共有のために提出した.
- 学習支援ハンドブックの説明を参考にノートには必ずキュー, サマリーの記入欄を設けて授業終了後の時間外にまとめや復習に役立てた. (ノートの形式は別にコーネルシステムでなくても自分なりのまとめ方で構わない.)

# 自己評価：本や論文の読み方

---

- 新書版1章分(30~40 ページ程度)の文章を段落ごとに要約することができた。特に最初と最後は念入りに読む。
- 論点(著者の主張, 問題提起, 立場性)を探る, 同時に論拠や出典を大事に扱う。

# 自己評価：資料の収集と整理の仕方

---

- 図書館ガイダンスの講義と実習内容が身についた。具体的にはOPAC, ジャパンナレッジ, ヨミダスの使い方を理解し, 使い分けができる
- オンラインの情報(Google やWikipedia)での精度の良い検索方法が身に着いた。また検索上位から得られる情報を別の情報源から確認する方法がわかった。



# 自己評価：プレゼンテーションの仕方

---

- スライド1枚で、2分30秒から3分間の発表内容を書ける（PowerPointのスキルは不問）
- スライド1枚に書ける適切な文章量を意識できる、書き過ぎてはいけないことを理解できている。
- スライドとスピーカーノートは違う、すなわち提示した内容をそのまま読みあげてもプレゼンテーションにはならないことを理解できた。
- ・練習の重要性を知った、必ず時間を計ってリハーサルした。

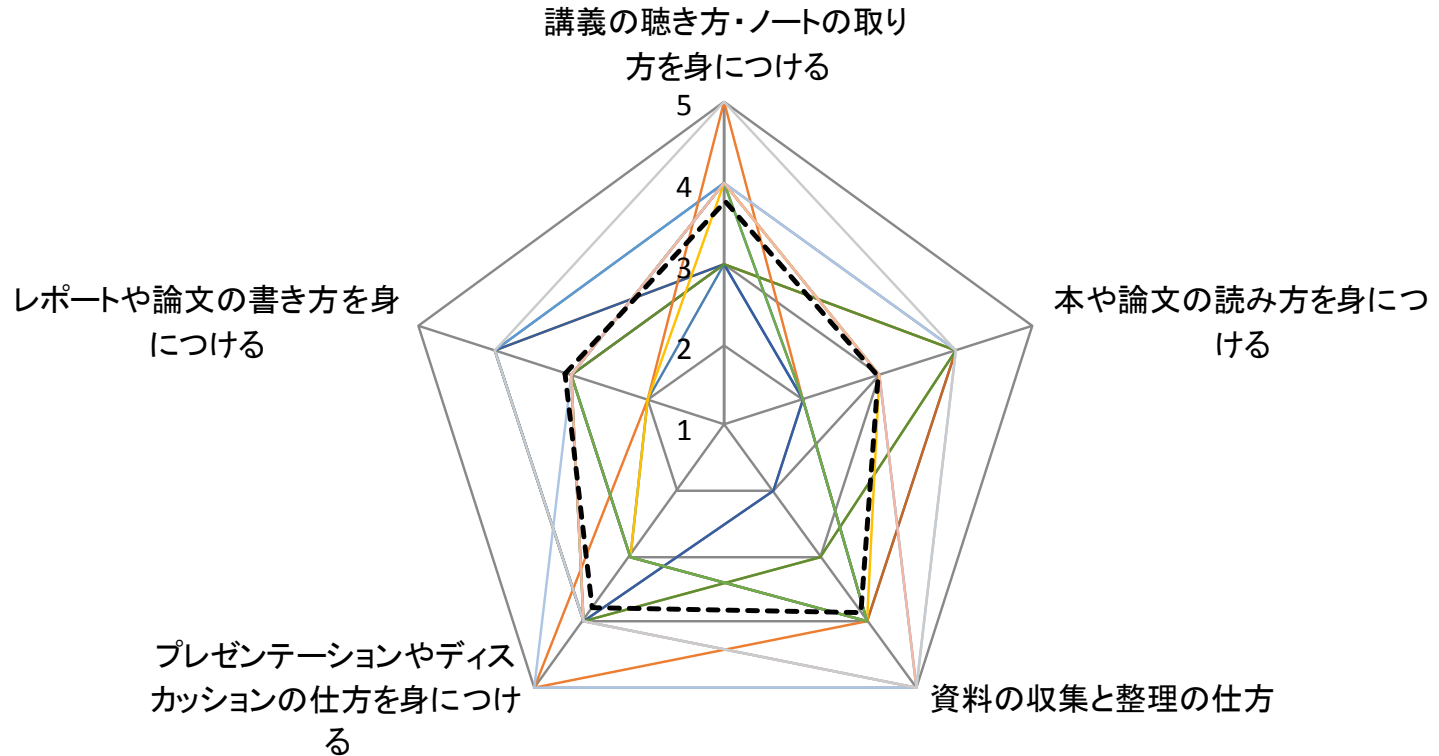
# 自己評価: レポート・論文の書き方

---

- 10.5~11pt 字体でA4版1ページの内容要約の文章が書ける
- 学習支援ハンドブックの説明を参考に、トピックセンテンス, サポートセンテンス, コンクルーディングセンテンスを組み立てることができる
- 参考文献や出典の書き方を理解できた.
- 剽窃はいけないことであると理解した. 自分の論旨と引用を明確に区別して書くことができる

# 自己評価のまとめ

## チュートリアル自己評価



— YM — KY — TM — KA — YM — JA — AY — AF  
— AK — SA — MY — RM — KA — NF — TK — 平均

# まとめ

---

初年次科目でのMaharaの活用2例を報告した。

大教室でのグループワークによる「ページ作成」を通じた授業活性化を、少人数クラスでは「ループリック機能」について報告した。

今後はさらに成熟した利用法の発見とユーザによる学習コミュニティの内発的な発展をめざして取り組みたい。

---

ご清聴ありがとうございました。